



## 「なぜ 1日は「24」時間で設定されたのか？」



【ゆうプレゼント音声】

「時間を買う人」がお金持ちになるという音声です。

この「時間を買う」という概念を理解すれば

収入は一気に跳ね上がるものなのでよければ学んでみてくださいね～

「時間を買う」という音声

⇒ <http://fxgod.net/onsei/business/jikanwokau1.mp3>



どうもゆうです。

さて、それで今日のこのPDFでは

「なぜ 一日は「24」時間で設定されたのか？」

について知って、考えましょう！

ずばり、この内容は「絶対に ぜえ～～つたいに」

日本の義務教育などの学校じゃ教えないんです。

(理由は追伸3で書きます。)

今日はそれを書きたいと思います。

さて、それでまず簡潔に

私たちが「無自覚に」使っている

~~~~~

24時間という時間は宗教である、

~~~~~

と私ははっきり書きます。

**24時間という時間の区切りは宗教**であるのです。

実はこの24時間という、一日を1時間の24回分

24で割るこの考え方は

**「定時法」**と言われます。

これは「（支配が巧妙に進んだ）現代の人にとっては」

当たり前のものであります。

実は、かつてこの24時間で一日を区切る

定時法は当たり前ではありませんでした。

原始時代の私たちの祖先が腕時計を使って

「今は15時だな～ もうちょっと狩りするか」

とやっていたらどうか？

という話です。

まあしてません。

実は24時間で区切る定時法の歴史は人間の

何百万年という歴史の上ではそんなに歴史が長くありません。

それで私のメルマガはよく「金融」のことについて

扱うのですが

この時間が24時間なのは何故か？というところで

「金融」が出てくるのです。

FXでも株でも必ず「時間」という概念が  
出てきますよね？

FXでもスキャルなのかスイングなのか  
はたまたデイトレードなのか、と時間の概念が付きまとう。

そうです、24時間で区切ったのはこれは

ネットも誰も教えてくれませんが

**どうも「利子」のためであります。**

実は昔この時間を24時間で区切る定時法について

ヨーロッパで戦いがあったのです。

私たち現代人は 疑いもしませんが、

この「新しい24時間で一日を区切る24時間制」

では戦いが繰り広げられた。

そしてこの対立をもたらしたのは実は「利子」の問題でありました。

当時キリスト教の時間は神学的時間とされ

当時はキリスト教が絶大なプロパガンダ力を持っていた時代ですから

「神とともに始まり、神によって支配されている時間」

という概念が当時の人々の考え方でした。

時間が神のものである以上、時間売って

利子を取る行為ってのは神を冒瀆するって考えられていたのですね。

私は宗教やらなんやら一切持ちませんが

やっぱり世界の成り立ちを考えるには

こういう宗教勢力のやってきた、戦いつてのを

知る必要があります。

特にヨーロッパの人と話すと「神学」というのを

専攻している人もいて

日本ではあまり聞かない学問ですが

やっぱり宗教というのは 政治とか私たち日本人の

「当たり前」と思っているものを

「解剖」するためには理解が必要な部分です。

ちなみに日本人は無宗教、とは言いますが

その考え方は 原罪思想を持っているカトリックそっくりであって

私は日本というのが時々カトリック信者の国なのかな、

とも思ってしまうくらいです。

それで当時、この「定時法」の部分では

ローマカトリックが色々言っていたわけですが

これは勢いは止まりませんでした。

ヨーロッパの、特にイタリアは高度経済成長であったから

「利子」の考え方が必要とされ

24時間の定時法ってのはすさまじく強烈でした。



それで私たちはこれから「イスラーム」についても

考えていかないとはいけません。

今の西洋の金融だけではなくて

イスラム金融ってのもこれから非常に重要になってきます。

日本ではイスラム金融のことなんてテレビではほとんど

流さないでしようが

ここには儲けの本質があつたりするわけです。

私たち日本人は 一応（洗脳されている人は多いけど）

無宗教なのだから、

色々な宗教の洗脳だったりプロパガンダだったり

客観性を持って見れる民族であって

やっぱりそうやって俯瞰する視点を持つべきです。

それで私たちは

「誰にも支配されてはいけない」と思います。

そして一方、外国人と話すときなんかはやっぱり

彼らは宗教を持っているけど

それは信教の自由という考え方があるから

私はそこで 一線引いたりはしないで

「ああ、あなたはそういう宗教を持っているのね、

けど僕は日本人だから宗教ないんだ、

まあけど信教の自由はあるわけで、僕は宗教はないんだけど

色々考え方は興味あるから教えてよ」

みたいな感じで色々な宗教の人と話すことも

外国だとありますね。

ちなみに海外で「私は無神論者です」とでもいえば

「私は危険人物です」という意味にもなるから

そういうのは覚えておかないといけない。

そして

本当に世界は色々な価値観、思想、考え方の人たちで

成り立っていて

それを十把（じっぱ）ひとからげに みんな一緒、

と考えると世界では戦えないのだ、と私は最近思います。

多様性、個性、その人の思想の自由性

はある程度はやはり認めて

コミュニケーションするべきであります。

それでそういう意味で私は

イスラームについても考えているのですが

## イスラム思想史をみれば

やはりこの24時間で時間を区切る定時法という概念は

イスラームにおいて発達しております。

定時法を可能とする数学や天文学は

格段にイスラームで、進化した。

それでこの舞台は9世紀のバグダッドなんですね。

だから人類が24時間の定時法を導入して、実は

1000年ちょっとしか経っていないわけであって

24時間区切りつてのは

数百万年と言われる人間の歴史の中では極めて新しいものであって

だからこの「24時間の定時法」が人間のDNAなんかに

適合しているものだろうか？と考えると

疑問があるわけですね。

ある人は 朝5時に起きるし、

ある人は昼13時に起きるし

ある人は2日間寝なくていいかもしれません。

やっぱり就寝時間とかにはある程度

個性が強烈に反映されるわけであって

私たち人類は

「睡眠時間の正しい時間は6時間です！」とか

「睡眠時間9時間は寝すぎです！」

とか

西洋医学という宗教の宗教家であるお医者様に言われるわけですが

はっきり言えば余計なお世話なわけであります。

疲れている日は沢山寝たいし、疲れていない日は

あまり寝ないで活動したい。

その人の生活によっても千差万別であつたりしますが

今の時代は一元的に24時間、という時間で

「入社時間は9時入社！遅れたら上司の怒号！」

みたいになっているわけです。

私は日本に帰ったら時々電車に乗るのですが、

特に満員電車に関しては

あの苦行を忘れてはいけないので

意識して乗ることがあるのですが

以前に満員電車に乗って見たところ

みんな立ちながら寝ていました。

きっと日本の都心部にいる人たちは毎日見慣れた光景です。

これを見ても 24時間の定時法で仕切られる社会は

人間にとって自然なのだろうか？という疑問が出てくるわけです。

それでどうもこの24時間という定時法は

イスラムのバグダッドで9世紀に出てきた考え方のようです。



9世紀のバグダッドに

「アル フワー リズミー」

という人がいたのですがこの人が

神学の下に位置づけられる数学、を

創始したとも言われます。

この フワー リズミー さんは

数学を物質的なものから引き離して

純粹に、抽象的なものへと移行させた、と言われています。

彼のラテン名が「アル・トリトミ」というのですが

よく FX 自動売買の EA で  
「アルゴリズム」とか言うと思いますが

実はこのアルゴリズムって単語は 上記フーリスミーの名前から

来ているわけです。

それでこの フーリスミーという人は

やはり強烈な人物で

彼の出現後に 数学、天文学が格段に進化した

わけです。

そしてこの数学、天文学の格段の進化にあわせて

私たち現代人の常識化されている

24時間

という概念が生まれたわけですね。

それで若干、歴史をとばしますが、

徐々に このバグダッドってのが今のニューヨークみたいに

ウォール街化したわけです。

ここで金融ユダヤ人ってのが絡んできたわけですね。

そう「利子」であります。

バグダッドの 南90キロくらい、

だから車ですっ飛ばしたら1時間とかそんな距離に

「バビロン」ってところが

あるのですが

この「バビロン」にユダヤ人の中央政府を作り上げたのが

「サアディア」という人なのですが

このユダヤ人の中央政府を作り上げた

サアディア (saadia) さん

の時代に

90キロ離れたバグダッドでは大恐慌に突入したのですが

そこで同時にウォール街化しているんですね。

ここで 利子、を必要とする 金融業、が発達していきまして

ここが実は私たちの24時間の「定時法」の原点にあります。

(この辺は私が所属する政治思想シンクタンクの

副島隆彦の学問道場で松村研究員が研究しています)

だから重要なことなのですが

私たちが普段から暮らして何気なく使っている

24時間という単位。

今あなたのスマホや PC に表示されているその

何時何分の単位は

実は 宗教 なんです。

外国の人が 「原罪があるから私はすべてを神にささげます～」

とか言ってるのを日本人は馬鹿にしますが

これは 実はその笑っている日本人そのものが

24時間、という金融ユダヤの人々が開発した

定時法という

ある種宗教の考え方を当然のものとして

受け入れてそれで行動しているわけであって

そして疑っていない、それを妄信している、

当たり前、常識だと思っている

という時点で**実は日本人も宗教を持っている**、と言えます。

それでこの24時間で1日を区切るという

この定時法の考え方とは違い

不定時法、という概念があります。

これは 太陽の出ている時間を12で割るのですね。

ただ太陽の出ている時間なんて 国によって違うし地域によって

違うから

それを12で割ったら

1時間の長さが季節や地域でばらばらになってきてしまいます。

30分になったり70分になったりしちゃいます。

ただ農業が基盤の社会であれば太陽の光が必要だから

不定時法、のほうが都合が良いわけです。

太陽の力が GOD = 神の恩寵、みたいな考え方もありますが

私はこの考え方は私たちの生活実感に近いものだと思います。

太陽がガンガン照っていたら なんか気分は良いし

雨でじとじとしていたらなんかテンション下がるわけです。



だから時間についても「選択」するべきであって

自分は 定時法で生きていくのか

もしくは不定時法も活用してくのか？

という生き方の選択肢が実はあるんです。

私なんかは会社で働いていたころはかないませんでした。

もう、朝眠い。

もっと寝たい。

ジムで筋トレした翌日とかもっと寝たくなったりします。

ただシフトが朝9時とかに入っていたりするわけですね。

だから私なんかは

「これは自然に反する、俺は寝たいのだから

もっと寝る」

ということで

朝11時過ぎに出社していたりしたのですね。

(ただブラック会社の良いところで、営業成績あげていれば

文句言われませんでした。

かなり駄目駄目な感じでしょうが上司が携帯に電話くれて

「起きて～もう10時だよ、早く来て契約とって、

今日数字大変だから」なんて感じで

意外にそういうところが良かったってのはあった。)

たぶんそれを普通の会社で3日間でもやり続けたら

仕事なくなっちゃうんだと思います。

だからよく「遅刻魔」という言葉がありますが

あの遅刻ばかりする人たちは本当は

不定時法を使っている人たちなんです。

それを社会不適合者と言いますね。

ただ彼らの考え方としては

「1日を24時間で区切るって？」

馬鹿いえ、俺はもっと寝たい、だって太陽は

まだ上りきっていないじゃないか」

ってものだと思います。

ちなみに私はもう独立して今は

不定時法メインで 太陽が明るくなってきたら

自然と起きる（目覚まし時計もっていません）

そんで眠くなったら寝る、みたいな生活を何年も  
していますが

一応定時法の24時間という区切りは待ち合わせで

相手にあわせて使いますが

実際のところ、24時間にあわせて出社していた会社員時代も

あったのですが

それよりはかなりストレスは 劇的に少なくなりました。

人間は頭の中の観念で生きているわけであって

この24時間なんてまさにそうなんですけども

例えば定時法では 地球の自転、については言いますが

はっきり言えば

それが本当だ、とは教えられますが

誰もそれを 見たものはいないわけです。

ただ「抽象」された数字、時計の数字として

「知ってる」だけです。

知ってるというよりは「知らされる」でしょうね。

「目の前の現実」が私たちにはあるわけです。

朝起きたらどうも太陽が明るく照っていて、

しばらくするとそれが明るく照った後に

夕焼け小焼けで落ちていく、

という「目の前の現実」があるわけです。

ただ「国家」とか「為政者」はそんな目の前の現実を

基準に行動するのを許してくれません。

税金だって3月15日まで！ と明確に指定されると

思いますし、

夏は明るいし、冬は暗くても公務員たちは

17時ぴったりに帰るから、公務員にとっては17時というのは

とても大事な時間だから役所において

「今は夏なのだからまだ明るいのだから

17時半だけ対応してよ」といっても

してくれないわけです。

目の前の現実よりも抽象する人間の能力ってのが

これが実は洗脳や GOD で使われる部分であって

よく 現実や肉体は汚らわしい、原罪にまみれている

沢山せつくるしてはいけません、

金儲けもいけません、

あなたは原罪にまみれているー！

なんて宗教ではやるわけでキリスト教の一部の人にそれを

感じ取ることができますが

これはやっぱり恐ろしい洗脳体系があるはずであって

特に新約4つの福音書の一つであるヨハネ福音書なんかでは

「はじめに現実あり」とは言ってくれず



「はじめにロゴスあり！」なわけです。

(ロゴスって何？おいしいの？みたいな。)

ただこれもユダヤ人たちの切実な状況があったはずで

この はじめにロゴスあり、ってのは

「抽象的に考える優位性」を強調しているわけですが

それが 弱者（当時のユダヤ）による強者（当時のローマ）

への対抗手段であったのだろう、と思われれます。

だからユダヤの人らは学問をなにより大事にしてきたし

頭を使わないと周辺民族に殺されそうになるってのが

彼らの歴史であって

そこで「はじめにロゴスあり」ってのがあるのだと思います。

ただ問題があって例えばこの

24時間、みたいな 時間の区切り方についても

別に私たちは

太陽が24回にわたって「切れて」

例えば1時間に1回暗くなって、また明るくなる、みたいな

現象を見ているわけでもなくて

あくまでも抽象の中だけのもの、なわけです。

**その抽象の24時間、という区切りで現代人の多くは動いている**

**わけであります。**

**ただ、どうも、これが都合悪くて**

**ある人は5時に起きるし、ある人は10時に起きるし**

**ある人は14時に起きるし**

**また眠くなる時間も、寝たい時間も千差万別であるわけです。**

**ただ「利子」を計算するためにはこの24時間が都合いい**

**ってことなわけですね。**

だから沖縄の人がよく 「太陽の登ったところに待ち合わせ」なんて

感じで 1時間、2時間遅れるのは当たり前～みたいなのは

面白おかしく語られていますが

実はこれは「24時間の定時法」に異議を彼らは

無意識に唱えているのだ、と私は解釈するんです。

実際にそっちのほうが確かにストレスも少ないんです。

「太陽が昇って起きて、 太陽が輝いていたら運動でもして

仕事でもして、

太陽沈んだら 酒飲んだり、眠る」

みたいな生活はストレスが24時間で縛られているときよりは

少なかったりします。

だから 自分の人生をデザインするときに人生で

「定時法」を使い続けるのか

時々でも「不定時法」で時間の感覚を持っていくのか

ってのは結構重要なことなのだと思います。

それでちょっと長くなりましたが、

このことを知っていれば「モチベーション管理」にも

小さい革命が起こるのです。

多くの方は「月単位でプラスにしたい」とか

やりますが、

まず、人間の 自然 を考えていけば

1ヶ月だと30日とか31日とかもしくは29日とかで

かなり人間の自然を考えれば「意識」するんがハードなわけですよ。

例えば 「おれはビジネスやるぞ！ 1か月 で 稼ぐぞ！」とか

「みんな」やるじゃないですか？

けどその目標設定では彼らは無意識に 1ヶ月という

定時法を使っていると気づかないとなんです。

1ヶ月とは 上で言う「抽象」であって

別に1ヶ月ってのが目に見えるわけではありません。

だから時間設定方法としては「弱い」わけです。

意識に働きかけずらい。

その対策として「週単位で どれだけ稼げているか」

という目標設定があり、

比較的、人間の自然の感覚に近いわけです。

「7日」ならば さすがに忘れない、ですよね？

「30日で成功するぞ」とかだと

大体私なら20日超えていたら忘れて違うこととしてそうです（笑）

ただ「7日ごと」に区切るのであれば

まあまだ覚えていただけるし、時間の、目標設定の区切りとしては

適当です。

が、ここもまた気づかなければいけないくて

7日ごと = 1週間ごと に区切る目標設定もあくまで

定時法を使っており、

非常に抽象的なのです。

それよりは、例えば 何かの教材の勉強をして実践をする

という一連の目標に関して



「あと太陽が5回沈むまでに 資金管理や手法全部を  
落とし込む」

みたいな目標設定のほうが明らかに効果あるんですよ。

知ってましたかね？

私は結構最近は無意識にでも

それをよくやっていたりするんですけど

これが何で良いか？というと

「目に見える」からです。

太陽が5回落ちる、って毎日自分の目で確認できるわけです。

暗くなったら「あ～太陽が落ちたな～」みたいに

「意識」出来るわけです。

「意識」出来るから その機会が多いから

目標設定した何かその行動が達成されやすいつてのが

あるわけですね。

これは不定時法を使った 時間設定法なんですが

これはFX だろうとせどりだろうと株だろうとオプションだろうと

輸入転売だろうと アフィリエイトだろうと

あらゆる目標設定で有効かと私は考えています。

定時法の24時間で設定する方法ってのは

人間のモチベーション管理にあまり向かないのですね。

それよりは不定時法のほうが モチベーション管理とか

そういうのに向いたりするわけです。

だから、なんとなく分かったと思うのですが

人生を豊かにするには

「常識」とか「当たり前のこと」を疑ったやつの勝ちなんです。

生かされるんじゃなくて 自分で生きる という実感が

得られます。

たぶん今号を見るまで

「24時間がなんで24時間なのか？」と疑ったことは

多くの人になかったと思うのです。

ただそこを疑うのが 実は哲学とか政治哲学とか

そういう分野でして ずばり私が専攻していた

政治学とは

「支配の学問」であるわけですね。

一番怖いのが「無意識に」それを信じてしまうこと。

刷り込まれてしまうことです。

24時間は利子のために作られた、

と知っていれば

目標設定で 「1週間以内に ○○の動画を見て勉強して

実践をして検証する」

みたいな方法以外にも

「太陽が5回沈むまでに ○○の動画を見て勉強して

実践をして検証する」

とか

「太陽が5回沈むまでに サイトをひとつ作る」

とか

夜型の人なら

「太陽が3回昇るまで 広告を出す」とか

まあ色々な目標設定が出来るわけなんです。

定時法という24時間の概念から抜け出すことで

モチベーション管理がすごい簡単になつたりしますし

あとは24時間という概念を人々が使ってるが故の

(無意識に定時法に洗脳されている)

みんなが見えていない穴が確実に出来るんで、

そこを利用していくという思考法も取れますよね。

こうやって利益とかが生み出されていくのだと私は思います。

だからあらゆる常識や当たり前のもの、

さらには道徳とか倫理とされるもの

の本質を疑っていくのが大事でして

これが実は 富を作るわけであって

こういう人が社会で増えてきたら為政者の統制は

効かなくなってくるわけです。

そうならないためにちゃんと

小学校や中学校では

定時法、を教えるわけです。

もちろん、定時法、という言葉は教えないです。

「朝 8 時に学校に来て

朝礼で挨拶を 8 時 10 分からして

8 時半から 1 時間目よ」

と 24 時間の定時法を徹底的に 教え込む。

(= 刷り込む)

これによって純粹無垢な「なんで？なんで？」

とかわいい子供時代に言っていた子供たちは

24時間で時間が区切られることに疑問を持たなくなるわけで

あつて

ロボット化していくわけです。

「なんで？」という言葉を手を失ってしまう。

24時間が当たり前、と思考誘導されてきます。

そして彼らはいずれ「社会人」になるのですが

彼らはしっかり ペットのワンちゃんと一緒に



「しつけ」られていますから

朝9時に出社することをしっかり守るし

会社の売上げをあげるためにしっかり貢献してくれる

わけですね。

だから、この世の中の大きな構造とか常識とか

社会風土とか そういうものを作った人たちは

本当に頭が良い、と私は思います。

が、それに疑問を感じる感性の人が私のメルマガ読者さん

なわけですが

この人らは社会では変人かもしれませんが

本当は洗脳されていない感性のある人たち、なのだと思います。

一般社会では24時間を疑う、とか言い出した時点で

「やばい人」なわけです。

ただ、そういうのを疑っていける人こそが

上の目標設定でも色々な経済活動でも優位に立つわけであって

富を手にしやすい傾向があるのも事実であります。

ということで、1日は24時間というのは

私たちの現代社会では「当たり前」かもしれませんが

それは単純に利子計算のためにそうなるだけであって

私たちの人生の充実度、幸福 という部分の尺度のために

24時間という区切りになっているというわけではない

と知ることが学問かと思えます。

特に不定時法というのは人間の自然に非常に近いわけであって

ストレスが小さいのは言うまでもなしであって

さらにビジネスや投資で「エネルギー高い人が成功する」

と言われますが

エネルギーの高さというのも不定時法で生活したり

動いていくことによって

ひょっとしたらあがるかもしれません。

私はよく知ってるんです。

「色々実践してそれで トライ&エラー&検証をしましょう」

とか書いてもやってくれるのは

一部の人でやっぱり人間は

「だれて」辞めてしまうということを。

ただここに 不定時法の目標設定があった場合

「太陽が3回昇るまでに あの動画を見よう、学ぼう」みたいに

目標を設定したら

おそらく私も含め、太陽なんて毎日見るものであるから

多くの方が目標達成しやすくなります。

当たり前ですがそれは経済成功の比率をあげますよね。

私も自分の近い女性の友達とかと会うとき

「3日後また〇〇の場所にね！」なんていわれて

「え、だから3回太陽が沈んだら 〇〇の場所にいけばいいんだよね？」

と聞き返して笑われることがあるのですが

自営業の場合 定時法を使うか 非定時法を使うかは

当人の自由なので

あなたに合う時間の計算方法を考えると

よりよい、と思います。

ということで世の中の常識を疑う人ほど

成功比率はあがると思いますし

自分なりに人生生きられると思います。

そして今は24時間の定時法が現代人の大きな体制であるから

その24時間の時間を売る側ではなく

時間を買う側に回ればこれ、すなわち利子を取る側に回って

稼げて「しまう」のであります。

だから会社でも

1 派遣社員 2 正社員 3 役員 4 株主というけど

一番「労働して時間を買ってるのは派遣社員」でしょう？

けど一番貧しい。

しかし私も世界中の株を買ってるけど、株主というのは  
基本的に何もしていない。労働をしていないわけです。

が、1～4の会社の構成員の中で一番金持ちは誰か？といえば

株主です。

だから働けば働くほど貧乏になっている気がする、というのは  
気のせいではなく、大きくは社会がそう構造作られておりまして

時間を売る側が貧乏に、

時間を買う側（株主や役員）が金持ちになるように

作られているということでもあります。

そしてここで「無限に時間を売ることのできるAI=人工知能」

がこれからの時代出てくるわけです。

この時代で生き残るのは誰だろう？ということです。

そう、**時間を買う人**たちだけですね。

これは厳しい現実ではあるけど、理想論は言わず、

その厳しい現実を向き合っなんとか生きていくというのが

このネットを使った自営業のあり方でもありますね。

それではまた！

ゆう



追伸・・・だから自営業者だったら

天気良い日は仕事がつつりやる

天気悪い日はのんびりすごす、みたいな

メリハリもありだと思います。

サラリーマンだとそれやると怒られますが

自営業者はその辺 自由なので

だから 自由営業 自営業というのだと思います

ネットで稼ぐ人を私は「新自営業者」と呼んでるけど

この新自営業者という小さな商売人（投資家）たちが

これから多く誕生するのが大事だという思想を私は持つてるわけです。

追伸2・・・それで音声にて、教材や塾の使い方も書いていますが

結局自分で全部最初からやってしまうと  
「有限な時間」がかかってしまうわけです。

ただ、FXなり株でもそうなんだけど  
そこで稼ぐまでの「時間」を短縮するために

億トレーダーから学んだほうが自分で右往左往するより

単純に時間の短縮という意味で合理的だよな

ということになるわけですね。

という意味で億トレーダーから投資のイロハを吸収するのはこれ

時間の使い方として合理的ということになるわけで

それをかなりの部分今回は無料で学べるわけなので、  
是非活用いただきたいということです。

追伸3・・・それで今回の  
「時間がなぜ24時間で区切られるのか？」を  
初めて知った人もいますか？

それはそうなんです。  
「為政者からしたら大変不都合な話」だからです。

ただどこかの会社の株主である人たちは  
実感で分かると思います。

(24時間区切りの定時法で)

1日8時間以上労働してくれる労働者がいて、  
そして彼らが会社の売上げを立ててくれて  
利益が出ます。

そしてその利益が配当金なりで株主に還元されるわけで

株主はその恩恵を受ける立場であるから  
なんとなくそういう構造に気づくものです。

ただこれは当然義務教育では教えないものでして  
義務教育ではまさに「定時法通り行動する人間」を  
大量生産するということに重きを置いてるわけですね。

あのチャイムの「ピンポンパンポン」っていう  
朝9時とかに鳴るベルがあるじゃないですか？

あれはそのための予行練習で子供たちの  
脳みそをこれから株主が利益あげるために  
必要な定時法に慣れさせるためなんですね。

最近は大企業でも学校と同じチャイムが  
流れるところがあるそうですが

あれは経営者たちがその辺よく理解しているからです。

だから為政者は民衆支配のひとつの方法として  
時間の概念を24で区切るっていうことを  
うまく活用していると言えますね。

逆にこれに気づくとめちゃくちゃ  
このシステムを作り上げた人々って  
頭が良いと分かると思います。

だから彼らの意図を知って  
生きる戦略を立てないとずっと搾取されてしまう

ってのがまさに現代であるのですね～

だからそうならないために**知識こそが資産**である  
ということです。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【ゆうプレゼント音声】

「時間を買う人」がお金持ちになるという音声です。

⇒ <http://fxgod.net/onsei/business/jikanwokau1.mp3>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆